



和's YAMATO (わずやまと)

2020
秋号

《スペシャルインタビュー》

● 東京大学史料编纂所教授 本郷和人氏

● 郷土史跡めぐり 「奈良古墳群」

● 群馬の芸術家 「南城一夫」

● お客様紹介 「湯楽の里 伊勢崎店様」





明智光秀の 人物像を探る

前編

明智光秀は織田信長を本能寺の変で自害に追いやった人物として有名ですが、戦国時代に強力な軍事力を持つ信長軍の重臣としての顔も持っています。信長からの信任は厚く、丹波攻略を託され、越前や加賀など各地を転戦し、京都の治安維持も任されていました。歴史家の本郷和人氏に、光秀の人物像、信長の「天下統一」に向けての動きなどについて伺いました。（聞き手 構成…木下直也）

「光秀はなぜ織田信長に拔擢されたのか」

光秀が信長に拔擢された理由は、一言でいえば優秀だったからです。これは織田家臣団の大きな特徴です。現代では、優秀な人材が拔擢されるのは当たり前ですが、戦国時代はそれが当たり前ではなかった。戦国時代に、優秀な人材が拔擢されていたとすると、光秀は朝倉家で何をしていたのか、という疑

問が残ります。朝倉家に仕えた光秀は、責任ある仕事は任されなかった。光秀の素性はよくわからないからです。戦国大名は、優秀であるという理由だけで拔擢することは無く、出身地を大変重要視していました。よそ者は信用しないのです。現代でいえば、他県の間人は信用しない、というのが当たり前の時代でした。また、同じ地域であっても門閥があり、生まれが重臣の家だったからその子孫は重臣に、身分の低い家の

生まれだと身分は低いままでした。何故出身を重視したかというと、他国（県）の間人だと裏切りに合う確率が高いからです。俺は才能があるから、ご主人さまをやつてほしい、という考え方を持ちかねない。優秀さよりも、裏切らない人間を求めたのです。こうした時代に、唯一人材の拔擢を実行したのが信長でした。信長は裏切りに合つても仕方がない状況だった。信長の人生は「裏切られの人生」です。妹のお市



坂本城址公園にある明智光秀像

の方を嫁がせて、同盟を結んだ浅井長政や、大和国の松永秀久もそうですし、家臣として取り立てて城主にまでした荒木村重にも裏切られています。

「天下統一を目指したのは信長だけ」

信長は、日本を統一しようとした唯一の人物だったと思います。日本を統一するためには、人材が必要になる。そうすると、その人の才覚・才能で拔擢せざるを得ない。信長と対抗していた武田信玄、毛利元就や上杉謙信も大規模な人材登用はしませんでした。戦国武将にとつて、裏切りは一番怖いのです。周囲の武将からは、信長は変わり者、と思われていたと思います。

戦国大名は、自分の領地を拡大しようとは考えていなかった。武田信玄は、父親の代で甲斐の国を平定した。信玄は隣国に侵略の手を伸ばし、信濃を平定したあと、海に面した領土が欲しくなります。日本海側の直江津に目をつけたが、上杉謙信の春日山城は落とせないと諦めて方針転換し、三國同盟を破つて駿河に向かいました。信玄は甲斐、信濃、駿河、西上野を領有したのに、本拠地を甲斐の国から動かしません。拡大した領地をぎつちりと治めようと

思つたら、諏訪あたりとか、領地の真ん中あたりに行くのがふさわしい。毛利元就は、中国地方を制覇したのに、安芸の吉田郡山城から動かない。それに対して、信長は清洲城、小牧山城、岐阜城、そして安土城と居城を変えて行つた。この違いは何かという、信玄にとつては甲斐の国、元就にとつては安芸の国が大切であつて、そこを守るために領地を拡大していったのではないかと思えるのです。その中で、信長だけが、拡大した領地に合わせて、居城を変えていく。俺の国を守るんだ、ではなく、日本を征服しようとしたのだと見ることでできます。こうした人物だから、時代を変えることができたのかもしれない。

「平和な世の中」を標榜した光秀

信長の人材を見い出す手法は、戦場で人を殺せるかどうかを見るのです。そこで殺せれば登用する。信長は才能があつても、大事に育てないで戦場に放り込んで、戦死したら諦めるのです。戦国時代は刀や槍で人を殺すのだから、常人にはできない。比叡山攻めの時、光秀はいよいよ参戦したのか、率先して征伐したのかで説が分かりますが、私

は信長の命令だから従わざるを得なつたと思います。光秀は織田軍団の新参者なので、功績を上げるのに必死だったはずで、次第にストレスをため込んでいったのだと考えます。秀吉は、人を殺すのは何とも思っていない、人たらしの仮面をかぶっているだけ。自分が偉くなると、偉くなかつた時代を知っている人を殺してしまう人物です。

信長は光秀と秀吉、どちらを信頼していたかというと、光秀だと思います。信長は、光秀に自分の親衛隊を任せている。本能寺の変の時に、信長は油断していたという見方をする研究者がいるが、それは間違いで、光秀は親衛軍なのだから、それに攻められたら敵うわけがない。信長が、親衛隊長を選ぶ時に、光秀にしたのが誤りだったということ。この時に、中国地方で毛利と戦つていた秀吉と、親衛隊長の光秀を比較すると、光秀を重視していたと考えられます。

本能寺の変を起こした光秀は、用意周到に策をめぐらせていたとは思えません。が、ブラック企業の社長のような人物が天下を取るのには許容できなかったのではないのでしょうか。平和な世の中をつくるのだ、という使命感を持っていたと思います。



福知山城

麒麟がくる 主な登場人物

2020年8月30日(日)から放送が再開した大河ドラマ「麒麟がくる」では、戦国時代を室町幕府の崩壊という新たな視点で描いています。

明智光秀

(長谷川博己)

美濃の明智家は下級武士であったが、光秀は勇敢でありながら知力も高く、美濃を支配する斎藤道三に見いだされ家臣となり、重要な働きをする。道三が戦に敗れ光秀は主君を失うが、織田信長に会おうことで運命の歯車が動き出す。

明智家

熙子

(木村文乃)

光秀の正室。
光秀を支える

牧

(石川さゆり)

光秀の母

明智左馬助

(間宮祥太朗)

光安(光秀の叔父)の
嫡男

藤田伝吾

(徳重 聡)

明智家家臣

織田家

織田信長

(染谷将太)

信秀の嫡男

帰蝶(濃姫)

(川口春奈)

信長の正妻

柴田勝家

(安藤政信)

織田家譜代の家臣

佐久間信盛

(金子ノブアキ)

織田家宿老

木下藤吉郎

(佐々木蔵之介)

織田家家臣

朝倉家

朝倉義景

(ユースケ・サンタマリア)

越前を支配する戦国大名

朝倉景鏡

(手塚とおる)

朝倉義景の家臣

山崎吉家

(榎木孝明)

三好家

三好長慶

(山路和弘)

桶狭間の戦い後、幕府
を抑え京を支配

松永久秀

(吉田鋼太郎)

三好長慶の家臣

足利将軍家

足利義輝

(向井 理)

室町幕府第13代将軍

足利義昭・覚慶

(滝藤賢一)

義輝の弟。室町幕府最後の
将軍

三淵藤英

(谷原章介)

室町幕府幕臣

細川藤孝・幽斎

(眞島秀和)

室町幕府幕臣。光秀の生涯の
盟友

摂津晴門

(片岡鶴太郎)

幕府の役人で、幕府の存
続を第一に考える保守
的な人物

朝廷

正親町天皇

(坂東玉三郎)

第106代天皇。上洛した
織田信長との駆け引き
で、没落した朝廷の存続
を図る

二条晴良

(小藪千豊)

二条家の当主。近衛前久
と対立する

近衛前久

(本郷奏多)

若き関白。公家であ
りながら政治に介入

今井宗久

(陣内孝則)

堺の豪商で茶人

堺

その他の登場人物

徳川家康

(風間俊介)

三河の戦国大名

菊丸

(岡村隆史)

三河の農民

覚恕法親王

(春風亭小朝)

比叡山延暦寺の天台座主。信長の焼き
討ちに遭う

筒井順慶

(駿河太郎)

大和土着の豪族。
光秀の側近となる
が、本能寺の変で
光秀を裏切る

お市

(井本彩花)

信長の妹で、浅井長
政に嫁ぐ

浅井長政

(金井浩人)

小谷城主。
信長を裏切り朝倉
義景につく

伊呂波太夫

(尾野真千子)

旅芸人一座の女座長
で、朝廷や各地の戦
国大名に顔が利く

望月東庵

(尾野真千子)

医師で、朝廷や各地の
戦国大名と特殊な人
脈を持つ

駒

(門脇 麦)

医師・東庵の娘で、
伝説の生き物・麒麟
の存在を信じて
いる

「名領主だった光秀

光秀の領地経営や統治の手腕は高かったと思います。丹波地方の光秀の城は亀山城になるのですが、重要になるのは福知山城です。福知山は丹後地方と亀山を結ぶ交通の要衝なので、光秀が町づくりを行い、江戸時代になってそのまま使われました。戦国時代に主流だった山城から、平地に築城した先がけだったと思います。土地を守る城ではなく、経済を重視したのではないのでしょうか。比叡山焼き討ちのあと、信長から琵琶湖畔の坂本城を与えられますが、そこで重要なのは琵琶湖の水運です。京都に物資を運び入れる機能があり、光秀はその役割をわかっていました。また、福知山では川の氾濫を防止するために流れを変える土木事業を行っていますし、米の収量を調べる検知

光秀自身がどこまで武芸に優れていたかはわかりませんが、味方をやる気にさせるような報奨の決め方など、管理・統率能力の高さがあつたと思います。もともと、管理能力が高いだけでは登用されず、戦場で戦えることも求められるのですから、信長軍の将校は大変ですね。

もしたそうです。領民のことを考えていたのでしょう。
京都を掌握するのに欠かせない拠点が丹波でした。丹波から兵を集めて京都に攻め込むことができません。琵琶湖の坂本城も京都に近い。信長が京都を守るために光秀を重用し、その手腕に期待していたことが読み取れます。
(次号に続く)



福知山城天守から見た景色

本郷和人氏略歴

1960年、東京生まれ。東京大学史料編纂所教授。東京大学・同大学院で、石井進氏、五味文彦氏に師事し、日本中世史を学ぶ。著書は「新・中世王権論」(文春学藝ライブラリー)、「権力の日本史」「日本史のツボ」(いずれも文春新書)、「乱と変の日本史」(祥伝社新書)、「信長 歴史的人間」とは何か」(トランスビュー)、「明智光秀10の謎」(宝島新書)ほか多数。

明智光秀略年表

(参考資料:「麒麟がくる 明智光秀とその時代」NHK出版発行)

大永8年・享禄元年 この年代の出生と推定されている
(1528) 明智光秀生誕の地が複数ある
永禄11年(1568) 織田信長に仕える
足利義昭が室町幕府15代将軍に
金ヶ崎の戦いで殿(しんがり)を務め敵の追撃を防ぐ
元龜2年(1571) 信長に従い比叡山焼き討ちを実行
元龜3年(1572) 琵琶湖畔に居城となる坂本城を築城
天正3年(1575) 丹波方面の攻略の任にあたる
天正4年(1576) 妻の熙子が死去
天正5年(1577) 細川藤孝らと大和片岡城を攻略
天正6年(1578) 娘の玉子(ガラシャ)が細川家に嫁ぐ
天正7年(1579) 丹波水上(ひかみ)城を攻める
天正8年(1580) 信長から丹波の国(29万石)を与えられる
天正9年(1581) 京都馬揃えの責任者となる
天正10年(1582) 安土城で徳川家康の接待役を務める
毛利方と対峙していた中国方面司令官の羽柴(豊臣)秀吉から出馬要請を受けた織田信長が、大軍を派遣することを決定し、光秀も出馬命令を受ける
秀吉軍の援軍に向かう途中で京都に引き返す
信長を襲撃する本能寺の変で信長は自害
秀吉らの軍勢と京都の山崎で戦闘となり敗北
落ち武者狩りで敗死



奈良古墳群

県内初の群集墳での県指定史跡

公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
主任調査研究員

長澤典子



石室内を見学できる奈良古墳群7号古墳

子どもの頃、古墳の近くで遊んだことはありませんか？私は、小学校近くの石室に入った時、外の空気とは違う、ひんやりとした感覚にびっくりしました。そんな体験ができるのが、奈良古墳群の7号古墳です。この古墳は、保存されている奈良古墳群の中で最大の規模を誇る円墳で、直径約17m、高さ約4mの墳丘の中に、横穴式石室が造られています。玄室の幅が狭く、奥に長く伸びているのが特徴です。

奈良古墳群は、沼田市奈良町内の南側、川場村との境を流れる薄根川の河岸段丘上にある群集墳です。周辺では、こんにゃくもやブドウの栽培などが行われています。この古墳群は、石室構造の変化から、古墳時代終末期の7世紀前半から後半にかけて、段丘の東側から西側へと次第に広がっていったことがわかっています。群集墳というのは、墳丘の直径が10m〜15mほどの小型円墳の集まりのことで、以前は群馬県内に多くありましたが、近年の開発などにより姿を消しつつあります。そういった中で、奈良古墳群は、令和2（2020）年2月21日に史跡97号として、群集墳では初めて群馬県指定史跡になりました。

今から85年前、昭和10（1935）年に群馬県内一斉に古墳調査が行われましたが、その時点では奈良古墳群には、36基の古墳があつたと報告されています。

昭和30（1955）年、段丘周辺の土地改良事業が実施されることになり、その前に、群馬大学の尾崎

喜左雄先生の研究室によって、6基の古墳が発掘調査されました。石室からは、直刀、鉄鏃などの武器類や勾玉・管玉などの玉類とともに、多くの馬具が発見されています。カ号古墳からは鉄製壺鍔（てつせいぼ）が、ソ号古墳からは鉄製轡や銅製鉸具（革のベルトを留めるバックル）などが出土しています。発掘調査に伴って周辺の古墳分布調査も実施され、59基の古墳があることがわかりました。その後、昭和55（1980）年、奈良古墳群は沼田市指定史跡となりました。

平成11（1999）年、沼田市教育委員会が、圃場整備対象となった奈良古墳群西側の9基の古墳を発掘調査しました。東側の約3万6千㎡については、公有地化されました。この調査では、13号古墳から鉄製轡のほか金銅製飾金具が20点以上出土しました。金具には金メッキが施され、薄い地板に鑿で細線を彫る毛彫りと呼ばれる彫金技法が使われていました。1400年以上を経た今でも、金銅製飾金具は金色に輝いており、繊細な技術に驚かされます。現在、庁舎等複合施設『テラス沼田』2Fに昨年オープンした、沼田市歴史資料館で見ることができます。

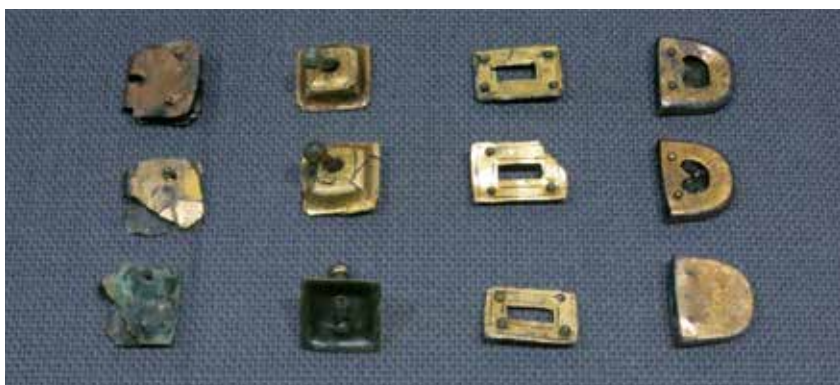
古墳群の一番東側にある10号古墳は、玄室の壁に側室をもつ珍しい「ㄇ」字形横穴式石室」として有名です。このような側室をもつ例は、旧群馬町が調査したお春名古墳のみで、群馬県内ではこの2例だけとなります。しかし、お春名古墳の墳丘上には、埴輪が配置さ



奈良大橋から見える奈良古墳群



奈良古墳群散策マップ（沼田市）



13号古墳出土の金銅製帯金具（沼田市歴史資料館 展示品）

参考文献

- 「群馬県史 資料編3 原始古代3」群馬県史編纂委員会 昭和56（1981）年
- 「沼田市史 資料編1 原始古代・中世」沼田市史編纂委員会 平成7（1995）年
- 「奈良古墳群」沼田市教育委員会 平成13（2001）年
- 「奈良古墳群 確認調査」沼田市教育委員会 平成19（2007）年
- 「第4回古代東国文化サミット奈良古墳群現地説明用資料」沼田市教育委員会 平成27（2015）年

れていますが、10号古墳には埴輪が見られないことから、時代的にはお春名古墳↓10号古墳の順に造られたと考えられます。10号古墳の側室は、石室入口から見て右側に位置し、玄室と比べると幅、高さ、奥行きが小さく造られています。側室が、何のために造られたのか、まだはつきりしていません。今後の課題です。

奈良古墳群の築造された7世紀代は、時代区分でいうと飛鳥時代になります。300年間ほどの長きに渡って続いた古墳の築造に象徴される時代から、仏教の影響を受けながら、律令制によって、国を二つにま

とめようとする新しい時代へと移り変わる時期にあたります。

奈良古墳群の古墳に納められた、豊富な馬具の数々は、馬と関わりが深い人々の古墳であつたことを物語っています。そんな古墳群が、造られた当時に近い形で残されていたのは、代々この地に住んでいた人々が古墳と共存し、大切に残してきたお陰です。石室入口に柵があり、中には入れないものもありますが、沼田市周辺に訪れた際には、足を延ばしてみてもいいかもしれません。

南城一夫

生誕一二〇年、寡作な画家の色彩と詩情

元群馬県立近代美術館学芸員 染谷 滋

忘れられない画家

これまで現役作家を扱ってきた本シリーズで、初めて物故作家を取上げたいと思う。その最初は、本年生誕一二〇年となる南城一夫である。

株式会社ヤマトにも何点かの作品が収蔵されているが、県内各地の美術館だけでなく、個人や団体などに今でも大切に扱われ、愛され続けているのが南城作品である。

私事ながら、私が一九八一年に群馬県立近代美術館に学芸員として勤めはじめた際、最初に担当した展覧会が「南城一夫展」だった。当時、南城一夫は八二歳。全国から集めた一二六点の作品を展示したが、私には反省する事の多い展覧会だった。

その後、何回かの南城一夫展はあったが、いまだに四〇年前の展示を超える内容の回顧展が開催されていないのは残念だ。

前橋、東京、パリ

南城 夫は一九〇〇（明治三三）年三月二十九日、前橋市一毛町に生まれた。旧制前橋中学時代に音楽や絵画に親しみ、一九一八（大正七）年の卒業後は画家を志

して上京。

一九二〇年、東京美術学校（現在の東京芸術大学）西洋画科入学。同級生には伊藤廉、野間仁根などがいたが、親しく接したのは一年先輩の岡鹿之助だった。

一九二四年、美術学校五年の最終学年時、卒業した岡がフランスに留学するのに合わせて南城も共にフランスへ向かった。美術学校は滞仏中そのまま、翌年卒業している。

当時のパリは、第一次世界大戦終了後のエコール・ド・パリと呼ばれる華やかな時代で、世界各国から芸術家がパリに集まっていた。日本人では藤田嗣治が人氣の中心で、岡と一緒に南城も藤田のアトリエに入りましたようだ。

パリ時代の作品で残されているものは少ないのだが、県立近代美術館の《鯛の静物》や、アーツ前橋の《人形のある静物》などを見ると、明らかに藤田の影響がある。絵肌（マチエール）の美しさはこの時代からで、何層にも絵の具を重ねながら、陶器の肌のような堅牢さを感じさせる。

上州の尻ぐすね

二年間余り続いたパリ滞在は、戦争のため中断。一九三七（昭和一二）年一月、前橋に戻った。「日本へ帰ることは僕にとつて、もはや絶望以外の何ものでもなかった」と語る南城は、当時、日本での活動に何の展望も持てなかった。

そんな南城を救ったのは前橋中学での友人横堀角次郎だった。東京で画家として活躍していた横堀は、田舎に引込んだ南城に春陽会への参加を勧める。

こうして南城は春陽会へ出品するようになり、一九四二年には会員へ推挙された。

戦争の時代をくぐり抜け、戦後も春陽会での出品を重ねて実力を認められるようになると、毎日新聞社主催の日本国際美術展や現代日本美術展、朝日新聞社主催の秀作美術展などに選ばれて知名度を高めたが、南城は前橋を離れることはなかった。

そんな南城の重い腰を評して、春陽会の木村荘八は「上州の尻ぐすね」と呼んだ。一方の南城はアンケートに答えて「嫌いなもの、日本の社会。怖いもの、他人」と記した。

生涯で三度の回顧展

戦前の群馬美術協会の結成に加わった南城は、戦前戦後の県内画壇で重きを置かれていた。本場のパリに二年も暮らした本格派だから当然ではあったが、次第に県内の画壇とは距離を置くようになった。

一九六六年、銀座の兜屋画廊で初めての個展。狭い会場での二四点だけのものだったが、南城の存在を世に知らしめた。

一九七七年、銀座松坂屋の広い催事場で行なわれた「南城一夫展」は、代表作約一〇〇点を展示して世間の注目を集めた。当時学生だった私がはじめてその作品に接したのもこのときだった。

一九八一年、県立近代美術館での群馬で初となる展覧会のことはすでに記した。当時の館長岡畏三郎は、南城の画友岡鹿之助の弟だった。準備のために前橋市内のお宅を何度となく訪ねたのが、昨日のこのように思い出される。

馬場川の隠者

前橋の中心街、現在のアーツ前橋から中央通りのアーケードへと向かう馬場川通りと国道五〇号線にはさまれて、江戸時代から続いた白井屋旅館があった。その跡地がこの夏、白井屋ホテルとして甦っている。

その敷地の一角に、かつて板塀を巡らし緑色のトタン屋根の平屋が一軒建っていた。南城が長く住んだ借家で、子どものいない夫婦が慎ましやかに暮らした場所だ。

ひたすらカンヴァスに向かう画家は、描いては消し、消しては描いて同じ絵に何ヶ月も取り組み、結局は塗りつぶしてしまうことが多かった。あまりの寡作さ故に「幻の画家」と呼ばれたこともあった。

自分にも厳しかったが、他人の作品にも辛辣で、口癖のように「これで絵になるなら楽だね」と語った。県立近代美術館での回顧展の翌年、住み慣れた前橋の借家から安中に転居。晩年の四年間を安中で過ごし、一九八六年二月二五日、八五歳で死去。作品は今でも多くの人々から愛されている。



月夜の蟹(当社所蔵)



花園(当社所蔵)

略歴 南城一夫 KAZUO NANJOU

- 1900 3月29日前橋市に生まれる
- 1918 旧制前橋中学卒業
- 1920 東京美術学校（現・東京芸術大学）入学
- 1924 岡鹿之助と共にパリに留学
- 1937 ロジェ・ビッシェール、アンドレ・ロートなどに学ぶ満州を経由して帰国
- 1939 横堀角次郎の勧めで春陽会に出品 翌年会友
- 1941 群馬美術協会の結成に参加
- 1942 春陽会会員に推挙
- 1953 第2回日本国際美術展に招待出品 以後数回出品
- 1954 第5回秀作美術展に招待出品
- 1966 第1回現代日本美術展に招待出品 以後数回出品
- 1966 銀座兜屋画廊で初個展
- 1977 銀座松坂屋で「南城一夫展」
- 1981 群馬県立近代美術館で「南城一夫展」
- 1982 長年住んだ前橋から安中へ転居
- 1986 2月25日死去。享年85歳

お客様紹介

湯楽の里 伊勢崎店様

群馬県伊勢崎市



湯楽の里 伊勢崎店

株式会社スバサンフジ様は「湯楽の里」「喜楽里」の温浴施設を関東1都6県計22カ所で展開しています。湯楽の里伊勢崎店では「サン」ライト化粧水風呂」が設置されており、美肌や保湿効果が見込めることから、集客アップ効果が期待されます。
(株)ヤマトは群馬大学と連携して、「サン」ライト化粧水風呂」の普及に取り組んでいます。

店舗概要

店舗名 湯楽の里 伊勢崎店

住所 群馬県伊勢崎市荻塚町119-11

電話 0270-22-2641

営業時間 9時～深夜1時(最終受付24時30分)

施設概要

■露天風呂天然温泉「招美の湯」・高濃度炭酸泉、壺風呂、座湯、寝湯、高見の湯台

■内湯、白湯、マッサージバス、エスデバス、歩行浴、サン「ライト」化粧水風呂、掛湯、水風呂、ロウリュウサウナ、ハーブサウナ、塩サウナ

■お食事処「咲楽」

■リラクゼーションスペース・ボディケアルーム「癒しの間」、韓国式アカスリ、カットサロン、日焼けマシン、ミミックコーナー

入館料 大人(中学生以上)

平日 会員 680円 一般 850円

土日・特設日 会員 780円 一般 950円

子ども(0歳～小学生以下)

平日 会員 330円 一般 380円

土日・特設日 会員 380円 一般 430円

サン「ライト」化粧水風呂

化粧水のような浴槽水が、赤ちゃんのようなモチリ肌をつくれます。

群馬大学がサン「コ」のミネラル(サン「ライト」に着目、研究の結果誕生したのが、サン「ライト」化粧水風呂です。

特長

肌の保湿力(バリア機能)が大幅アップ

皮膚からの水分蒸発を防ぐので、入浴後も体の温かさと「じっとり感」が持続します。

化粧水の浸透力アップ

入浴後はフースター(導入液)を塗った状態になるため、化粧水がよく浸透し肌の潤いを保ちます。

肌にやさしい弱酸性

弱酸性(pH5)なので、肌への刺激が少なく、安心して入浴いただけます。



お客様の声

湯楽の里 伊勢崎店

店長 井野雄司さん(左)
主任 山田 隼さん(右)
(現在は専任店勤務)



湯楽の里伊勢崎店は18年前の開業以来、地域の皆様に親しまれております。

毎分250ℓほどの豊富な温泉が汲上げられ、温度も47.4℃と高いことからシャワーの水を温泉熱で温めるなど省エネにも自然の恵みを最大限に活用しております。

自慢はやはり天然温泉「招美の湯」とサン「ライト」化粧水風呂です。4年前に導入した高濃度炭酸泉も大変人気です。



が、サン「ライト」化粧水風呂は導入当初から女性を中心に反響があります。サン「由来」の「サン」ライト」を使用したお風呂で肌の保湿力(バリア機能)、化粧水の浸透力が大幅にアップします。弱酸性でお客様や乾燥肌の方にもおすすめです。湯上り後の肌のモチモチ感をぜひご体感ください。

(2020年6月15日取材)

伊勢崎店自慢の招美の湯

「日本天然温泉審査機構」が六項目の満点評価

露天風呂 伊勢崎天然温泉

ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉

招美の湯

伊勢崎天然温泉「招美の湯」は、平成13年12月に地下1,500mから湧出しました。湧出量は、毎分250ℓ、温度47.4℃の温泉を汲み上げております。泉質は、ナトリウム・塩化物・炭酸水素塩泉(弱アルカリ性低張性高温泉・pH7.7)で黄色を呈し、塩味、微鉄味・微硫化水素臭を有します。

この泉質は、皮膚を柔らかくし、汚れを取り去る働きがあります。成分中の炭酸水素ナトリウムが、皮膚の脂肪や分泌物を乳化させて洗い流し、肌をスベスベにする、まさに「美を招く」温泉といえます。是非、この清涼感あふれる伊勢崎天然温泉「招美の湯」をお楽しみください。



写真で楽しむ 群馬の自然～季節の花～



オランダセダム

中之条山の上庭園では、オランダセダムの花が10月頃まで咲いています。

《中之条山の上庭園》

群馬県吾妻郡中之条町大字入山小森口 4046-2

電話：0279-80-7123

開園時間 9:00～17:00（12月末～3月末まで冬季休館）

入園料：無料（体験は有料）

休園日：無休（12月末～3月末まで冬季休館）

写真『ググっとぐんま写真館』から転載

冬桜

桜山公園では、10月下旬からは木々が色づいてモミジが、11月中旬からは冬桜が咲き始めます。冬桜は国指定名勝、天然記念物になっています。

《桜山公園》

藤岡市三波川 2166-1 電話：0274-52-3111

（藤岡市観光協会鬼石支部）

開園時間：随時

休園日：無休 入場料：無料

写真『ググっとぐんま写真館』から転載



和s YAMATO (わずやまと) 秋号 (第46号)

【和's yamato】の由来

ヤマトの漢字の「和」、Water&Airの頭文字を合わせて「WA」、「S」はスタート。

ヤマトが発信するメッセージです。和's YAMATO 秋号 / 2020年9月発行

発行：株式会社ヤマト（広報室）群馬県前橋市古市町 118 tel:027-290-1891 fax:027-290-1896

建設プロダクト  〒371-0844 群馬県前橋市古市町 118 tel:027-290-1800 (代) fax:027-290-1896

支店 / 東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎、東北 営業所 / 軽井沢、伊勢崎、神奈川県央、茨城、太田、東松山、新潟、長野、渋川、川口、多摩、横須賀、滋賀、青森
付属施設 / 大和環境技術研究所、大和分析センター、加工センター、朝倉工場、教育センター、コンタクトセンター、サポートセンター

ヤマトホームページ www.yamato-se.co.jp/

